

ことば村ニュース



2019年1月

「ことば村ニュース」はイベント会場で配布しています。HPでもご覧いただけます。

2019年の年明け、平成最後の年の始まり、いかがお過ごしでしょうか。今年の4月から入管法が改正され、外国人の来日が増えることとなります。ことばを通して、新しいシーンに役立ちたいと願っています。皆様もぜひ一緒に！

★ことばのサロンの予定

●2019年1月のことばのサロン「アマゾン先住民・ことばの邂逅（仮）」

話題提供 国分拓先生（NHK ディレクター）

日時：1月12日（土）午後2時～4時30分 会場：慶應義塾大学三田キャンパス西校舎514教室
NHK スペシャル「大アマゾン最後の秘境」や「ボブディラン ノーベル賞詩人魔法のことば」などのプロデューサーで、ノンフィクション「ノモレ」の発表でも話題になった国分拓先生を迎え、「ノモレ」で描かれた先住民の生き別れの歴史と、「ことば」による再会を中心に、お話を聞きます。

●2月のことばのサロン「言語学者のニューカレドニア（仮）」

話題提供 大角翠先生（東京女子大学名誉教授）日時：2月16日（土）午後2時～4時30分

会場：東京女子大学同窓会館1階ラウンジ **初めての会場です。ご注意ください。**

2018年9月に「言語学者のニューカレドニア—メラネシア先住民と暮らして」を上梓された大角先生が、その新著にそってフィールド言語調査の方法、その問題解決や醍醐味についてお話を聞きます。言語調査を志す若者は必見、先住民との生活のエピソードも楽しみ。

●3月のことばのサロン「ことばのびっくり箱—台湾」

話題提供：平埜久美子先生（ノンフィクション作家）日時：3月23日（土）午後2時～4時30分

会場：慶應義塾大学三田キャンパス教室予定 たくさんの著書の中、「トオサンの桜—散りゆく台湾の中の日本」など、台湾を舞台にした作品も多い平野久美子先生に、台湾に共生する多様な言語とその話し手について体験に基づく生き生きとしたお話を聞きます。

★目黒国際交流フェスティバルに出展します。

ことば村の所在地・目黒区主催の国際交流フェスティバルに今年も出展。ことばのクイズや本の展示など、来場者に楽しんでもらいます。目黒区の大使館の料理なども。入場は無料です。

2019年1月20日／目黒パーシモンホール／10：00～16：00

★「日本の童話」ポルトガル語版改訂版発行が決まりました！

ことば村活動の柱のひとつ「日本の童話・対訳版 DVD 付き」はポルトガル語・英語・スペイン語の3バージョンで日本語学習、母語保持に役立つよう無償で贈られています。とくにポルトガル語版はブラジルからの来日児童が多くいることから、2014年に3000部印刷した初版が在庫切れになり、今後も必要とされる見通しから、改訂版を発行することになりました。今年度中に、と担当者が頑張っております。どうぞ必要とされる場所をご存じの方はお知らせください。

★ホームページに正会員投稿欄に原稿をお寄せください！

▼正会員投稿欄がホームページに設置されています！日本や世界のことばと文化について info@chikyukotobamura.org へお寄せください。みんなで活動を盛り上げて行きましょう！

▼会員の稲垣徹さん寄稿の「世界の文字」が毎月拡充中。ぜひお楽しみください。

http://www.chikyukotobamura.org/muse/writing_systems.html

▼運営委員の柴田賢さん、佐野彩さんがそれぞれ留学先のことばに関する現地エッセイを寄稿中。

<http://www.chikyukotobamura.org/muse/life131030.html>

<http://www.chikyukotobamura.org/muse/life131124.html>

★ことば村ホームページ

<http://www.chikyukotobamura.org/>

★メールマガジン配信中！

毎月盛りだくさんの内容でお届け中。申込は—

<http://www.mag2.com/m/0000199577.html>